



中学部の先生方、連日の体育会に向けて指導、そして本番と、本当にお疲れ様でした。素晴らしい体育会となりました。

来年度も「小学部の手本となる体育会」になるよう、力を合わせていきましょう！



○ 中学部の学力検査の結果から

4月に実施した中学部の学力検査（フクトのテスト）の結果が出ましたのでお知らせします。

県平均50に対して、全体50という結果でした。この結果に対し、昨日の職員朝礼でもお伝えした通り、片峯市長より評価と激励のお言葉をいただきました。

さて、中学部の5教科担当の先生方、今回の結果の分析はお済みですか？ 効果のあった指導法はぜひ継続して下さい。課題があれば、改善して下さい。このことについては、体育会終了後の面談の中でお聞きしますので、まとめておいて下さい。



中学部の5教科担当の先生方へ

「4月のフクトのテスト」の結果に基づき「成果・課題・改善策」をまとめて下さい。

まとめた内容は、面談の中で報告をお願いします。

また、成績上位の約1割が他校へ進学した中で、県平均を超えた7年生の結果は素晴らしいです。きっと、旧5・6年生の先生方を中心に小学部が、効果のある指導をされていたのだと思います。効率よく学力向上を図るためにも、その指導法を中学部、特に7年生には取り入れるべきだと思います。6月に、本年度の「9年間の教育活度プラン（9年間プラン）」の小中合同会議を開きます。その中で、特に中期における学力向上の9年間プランの中に、その指導法を反映させて下さい。



小学部の旧5・6年担当、学力向上コーディネーターの先生方へ

現7年生に実施した学力向上の指導方法や取り組みの中で、効果があったと思われるものをまとめて下さい。それを本年度の「9年間プラン」に反映させて下さい。

小中一貫教育では「無理なく・無駄なく・効率よく」がキーワードになります。良いものは小中で互いに取り入れ、効率よく成果を出していきましょう。